

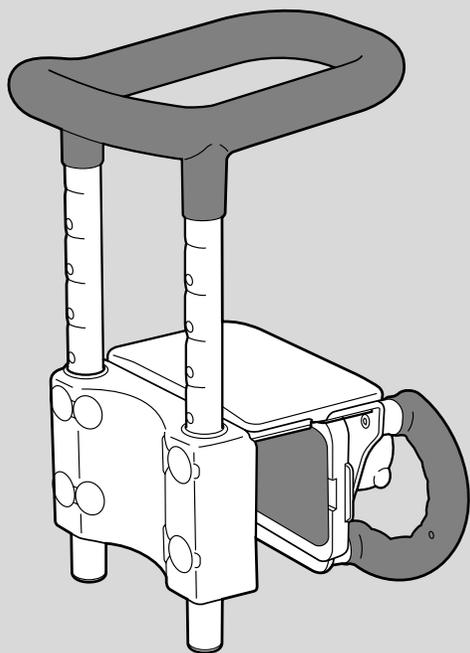
安寿 あんじゅ

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

高さ調節付浴槽手すりUST-130 取扱説明書

このたびは高さ調節付浴槽手すりUST-130をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1・2
取り付けの前に	3~5
各部のなまえ	6
特長	6
組み立て・取り付けかた	7~8
使いかた	9・10
お手入れの方法	10

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

 **注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

 **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**



 **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

警告

 **毎回ご使用の前に、グリップを前後左右に揺らしてみ、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認すること**
しっかり固定されていないと、使用中に本品が外れ転倒の原因になります。

 **浴槽壁の厚みが次の範囲の場合では取り付けないこと**
4.5cm未満、13cmを超える場合。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損する原因になります。

注意

 **改造や分解をしないこと**
本品が正常にはたらかず、けがの原因になります。

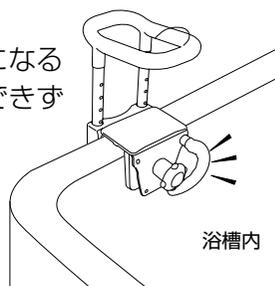
本品を取り付ける前に、浴槽の取り付け面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が付着していないことを確認すること
浴槽が汚れていると、使用中に本品が外れ転倒の原因になります。

 **使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと**

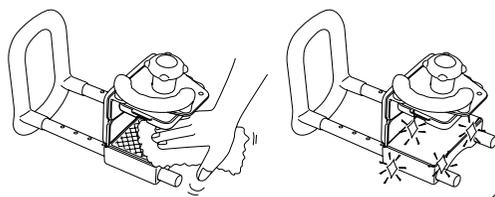


内グリップが必ず浴槽の内側を向くように取り付けること

取り付け方向が逆になると、しっかり固定できず転倒やけがの原因になります。



 **上面裏側のゴムシートおよび本体側面のゴム板がとれた場合、本体・ゴムシートまたはゴム板に残った(のり)をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートまたはゴム板を貼り直してから使用すること**
ゴムシートやゴム板がはがれると本品がしっかり固定できず転倒やけがの原因になります。

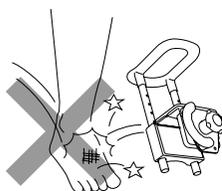


安全上のご注意

⚠ 注意

浴槽壁の外側に段がついている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用すること
段差補正を行わないと本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。

取り付け・取り外しの場合、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意すること
足に落とすと負傷・骨折の原因になります。



手すりを浴槽壁に取り付ける際のフレームの幅調節は、取扱説明書に従い、適切に行うこと

幅調節のねじが緩んでいないか定期的に点検すること
使用中にねじが外れ、けがの原因になります。

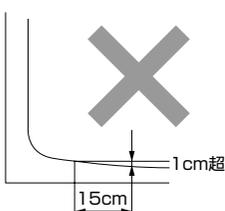
グリップ本体の固定ねじが緩んでいないか定期的に点検すること
使用中にねじが外れ、けがの原因になります。

本体側面のゴム板が外れていないか必ず確認すること
本品がしっかり固定できず転倒やけがの原因になります。

押圧板のゴム板が外れていないか必ず確認すること
本品がしっかり固定できず転倒やけがの原因になります。

浴槽以外のものには取り付けないこと

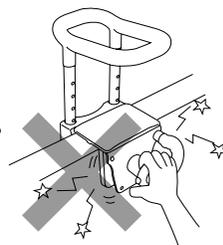
浴槽壁厚の差が1cmを超える場所には取り付けないこと
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。



石けんや洗剤が付着した手で使用しないこと
手が滑って、けがの原因になります。

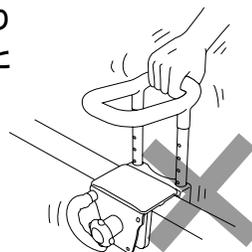
火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。

ハンドルを必要以上に締めつけないこと
浴槽が変形、または破損する原因になります。
(タイル壁面の場合は、タイルが破損する原因になります。)



お湯の温度が45℃以上では使用しないこと
ゴムシートやゴム板がはがれ、けがの原因になります。

本体のグリップ部を持って、前後左右に強く押したり引いたり
乱暴に扱わないこと
浴槽が破損する原因になります。

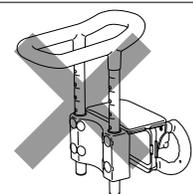


子供を遊ばせる等、他の用途で使用しないこと
けがの原因になります。

本品に座ったりしないこと
破損やけがの原因になります。

直射日光に当てないこと
変形やソリ・ひび割れの原因になります。

グリップを本体から抜き取り反対向きに取り付けないこと
破損やけがの原因になります。



体重が80kgを超える方は使用しないこと
本品が外れたり、破損しけがの原因になります。

タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
必ず中性洗剤を使用すること
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

取り付けの前に

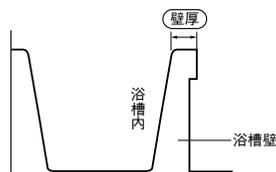
①次の浴槽には取り付けできません。

- ・浴槽壁の厚みが4.5cm未満、13cmを超える場合
- ・浴槽上縁部に段差のある浴槽
- ・浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な場合
- ・浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで壁強度が確保できない浴槽

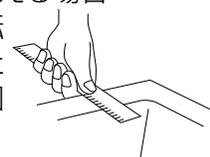
「浴槽手すりUST-130」を取り付けることができる浴槽壁の厚みは4.5～13cmです。

ここをご確認ください。

- 浴槽壁の厚みを測ってください。



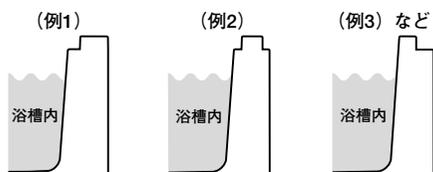
浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取り付け
ないこと
4.5cm未満、13cmを超える場合
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損する原因になります。



浴槽上縁部に段差のある浴槽には取り付けできません。

ここをご確認ください。

浴槽上縁部に段差のある浴槽



※浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、浴槽からはずれる可能性があるので取り付けしないでください。



浴槽上縁部に段差のある浴槽には取り付け
ないこと
浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因に
なったり、浴槽が破損する原因になります。



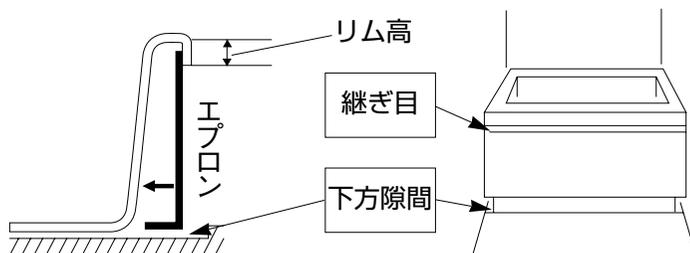
浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な浴槽には「浴槽手すりUST-130」を取り付けることができません。

ここをご確認ください。

取り付けできない浴槽は、以下の項目がすべて該当する浴槽です。

- ①据置き浴槽（浴槽が床面におかれており、浴槽の前面がすべて見える浴槽）である。
- ②上縁部に継ぎ目がある。
- ③洗い場側下方に手の入る隙間がある。
- ④取り外しのできるエプロンが前面1枚だけである。
- ⑤リム高さが10cm以下である。

なお詳細が判断つきにくい場合は、
現在お使いの浴槽製造メーカーまで、
「前面着脱式1方全エプロン」
であるかをお問い合わせください。

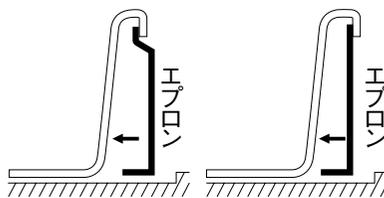


取り付けの前に



注意

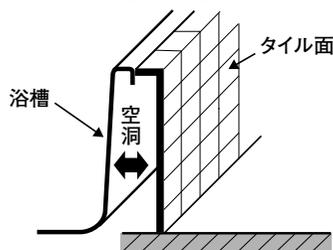
ポリ浴槽などで、浴槽外側の前方エプロンが
取り外し可能な場合は取り付けないこと



- 前面エプロンが着脱可能な浴槽は、設備メーカーが水漏れ等による万が一の場合に、点検用として取り外しが可能な仕様となっています。この仕様の浴槽のうち、1方全エプロンと呼ばれるものに商品を取り付けた場合、繰り返しの使用によっては、エプロンが外れ、転倒やけがの原因になりますので、取り付けはできません。

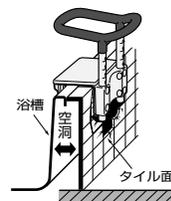
**浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで壁強度が確保できない浴槽
(内部が空洞になっているもの) には取り付けできません。**

ここをご確認ください。



注意

浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで、壁強度が確保できない浴槽には取り付けないこと
浴槽壁へのはさみ込み強度が得られず、タイルが破損したり側壁が陥没し、本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。



浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りの場合、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。空洞の場合は壁強度が確保できず、タイルや側壁が破損し、浴槽手すりを外れる恐れがあるので十分注意してください。

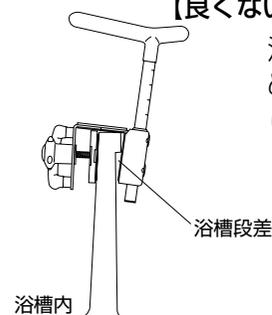
なお詳細が判断つかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。

② 次の確認を行ってください。

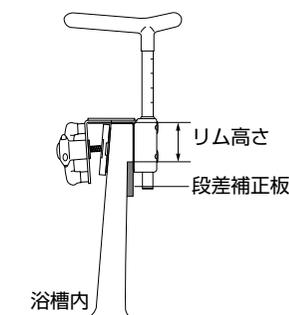
- ・ 浴槽壁の外側に段差がついていますか。
- ・ 浴槽外壁の強度は十分ですか。
- ・ 浴槽外側の角は丸くなっていますか。

浴槽の外側に段がついている場合は、段差補正を行ってから本品を取り付けてください。

【良くない例】



浴槽壁に段があるため、本体が傾いて取り付けられている。



- 付属の段差補正板で、浴槽壁外側の段差を解消します。
- 段差の幅やリムの高さによっても、補正の仕方は変わります。

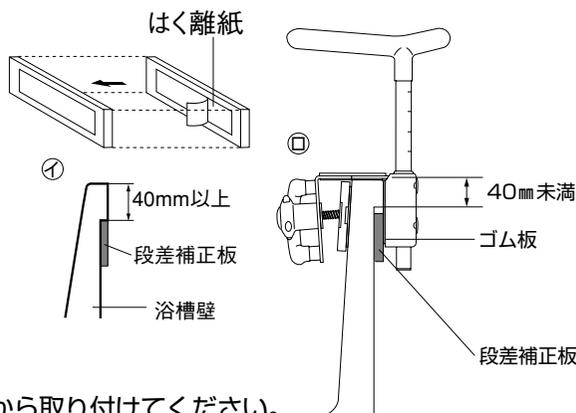
取り付けの際は次のページの段差補正板取り付け方法をよくお読みください。

取り付けの前に

段差補正板 取り付け方法

段差15mm以下の場合

- 1 段差に合わせて段差補正板を用意します。2、3枚使用の場合には、最初に両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りをしておきます。
- 2 ①リム高さ40mm以上の場合
リム下端に接する位置へ段差補正板を貼り付けます。
②リム高さ40mm未満の場合
本体のゴム板下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。



段差16mm以上の場合

段に合わせて厚みの木板または硬いゴムを当てがってから取り付けてください。

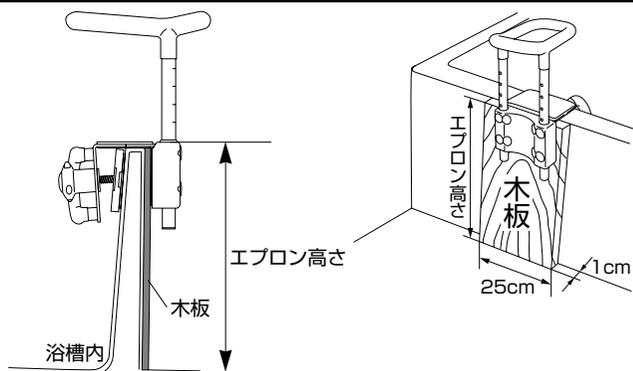


使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認すること

万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残った(のり)をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

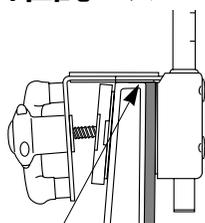
壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取り付けてください。



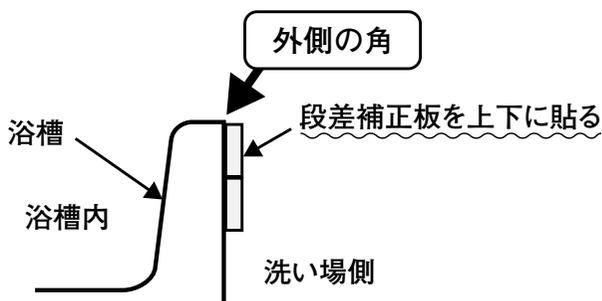
浴槽上縁部の外側の角に丸みがない場合は、段差補正板を取り付けてください。

浴槽上縁部の外側の角に丸みがない場合は、付属の段差補正板を図のように取り付けてご使用ください。

ここをご確認ください。



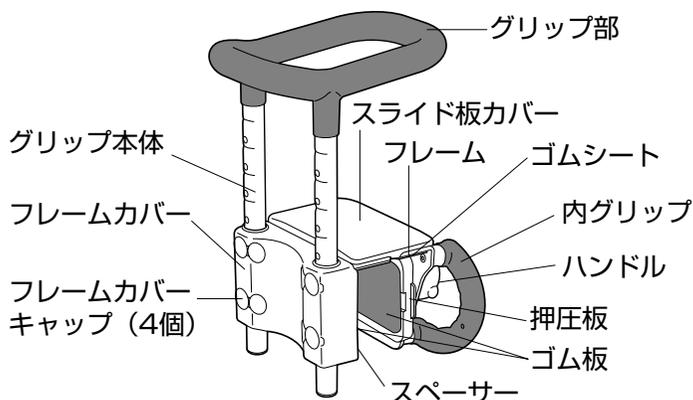
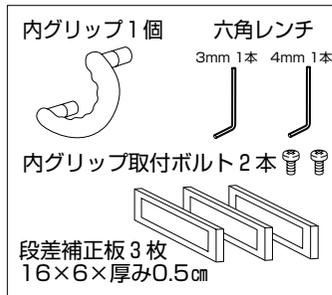
浴槽外側の角と浴槽手すりフレームの内側が接触する場合は、直接取り付けないでください。



浴槽上縁部の外側の角に丸みのない浴槽には直接取り付けないこと
浴槽を傷つける場合があります。

各部のなまえ

■付属品



■仕様

品名	高さ調節付浴槽手すり UST-130	
構成部品	部品名	材質
	ハンドル、内グリップ、押圧板、スペーサー、フレームカバー	ポリプロピレン
	グリップ部、ゴム板、フレームカバーキャップ	エラストマー
	フレーム、グリップ本体	ステンレス
	軸、ねじスリーブ	黄銅(ニッケル・クロムメッキ)
	ゴムシート	エチレンプロピレンゴム
段差補正板、スライド板カバー	ポリエチレン	
サイズ	20×27~33×高さ37~39cm グリップ高さ(浴槽上縁から) 11・14・17・20・23・26cm	
重量	約3.9kg	

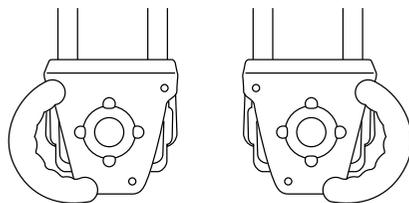
特長

- 取り付けのまま風呂フタができます。
- 洗い場側でも使用でき、あらゆる角度からつかめて浴槽に安心して入れるループ形状のグリップ。
- 身長に合わせて幅広く選べるグリップ高さ。(浴槽から11・14・17・20・23・26cm)
- 卵型(断面形状)の持ちやすいグリップ形状。
- グリップ部はソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材を使用。
- グリップカラーには、湯気の中でも見やすい赤色を採用。
- 幅調節は、上からネジを緩めるだけで調節可能。
- フレームは浴槽内への出っ張りを最小限にできる3ピース構造。
- 締めつけやすい形状のハンドル。
- 浴槽壁に接する部分には滑り止めと、浴槽保護のためゴムシートを使用。
- 押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。
- 浴槽内で身体を安定させたり、引き起こしたりするのに便利な半円形状の内グリップ付き。
- 内グリップは、手すりの設置状況に合わせて左右どちら側でも取り付けが可能。

組み立て

内グリップの取り付け

1. 使いやすい向きを選び、内グリップの取り付け方向を決めてください。
2. 2本のグリップ取付ボルトを付属の六角レンチ（3mm）で最後まで強く締め込んでください。



取り付けかた

浴槽に水を入れる前に以下の手順で行ってください。

取り付け

- 1 取り付け可能な浴槽の壁厚は4.5～13cmです。
- 2 取り付け面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 3 浴槽壁の厚みを測ってください。浴槽内壁に傾斜があるときはその数値に+0.5cmしてください。



(例) 7.0cmの場合
 —傾斜があるとき— $7.0 + 0.5 = 7.5\text{cm}$
 —傾斜がないとき— 7.0cm

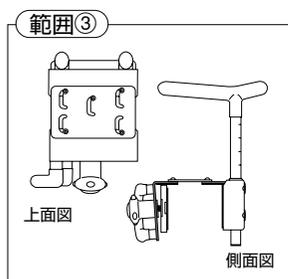
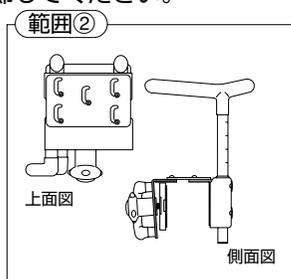
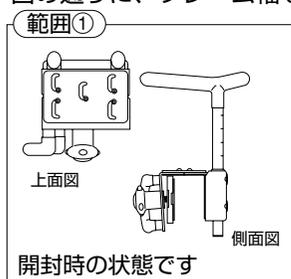
↓ ↓
 7.5cmは範囲② 7.0cmは範囲①

- 4 ①～③の適合する範囲を確認してください。

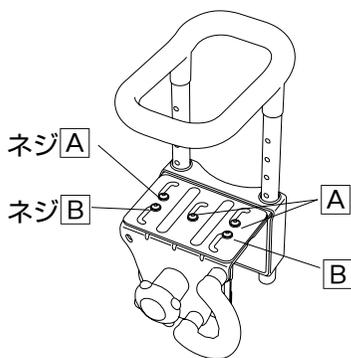
範囲①	4.5～7.0cm	範囲②	7.1～10.0cm	範囲③	10.1～13.0cm
-----	-----------	-----	------------	-----	-------------

- 5 スライド板カバーを外してください。

- 6 下図の通りに、フレーム幅を調節してください。



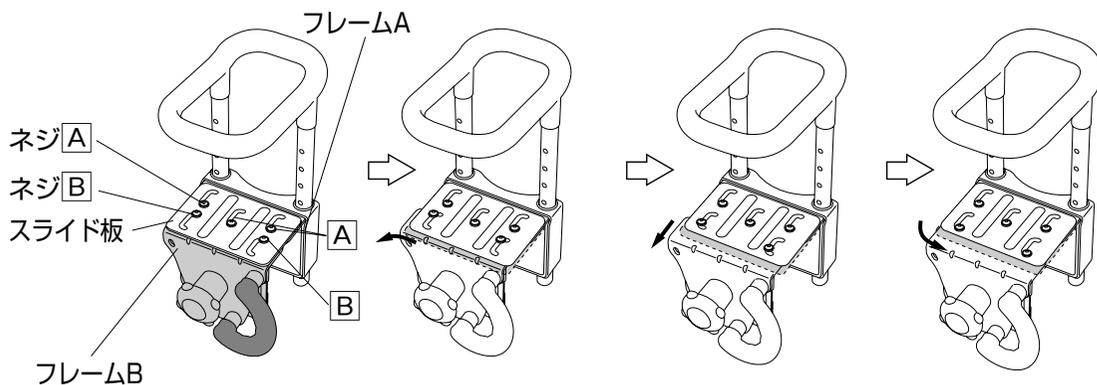
- (1) 付属の六角レンチ（4mm）でネジを緩めます



範囲①の場合	不要(ネジの締めつけを確認ください。)
範囲②の場合	□Bのネジ2本を緩めます
範囲③の場合	□Aを3本□Bを2本緩めます

取り付けかた

(2) フレームBを下図のようにスライドさせ、しっかりとネジを締めます。(範囲②の場合)



※範囲③の場合は、同様にフレームAもスライドさせます。

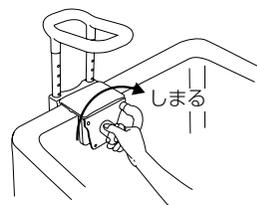


- (2)のとき、最後に当たるまでしっかりとスライドさせてねじを締めつけること
使用中に本品が浴槽から外れ、けがの原因になります。
- ねじが確実に締まったか確認すること
使用中にねじが外れ、破損やけがの原因になります。

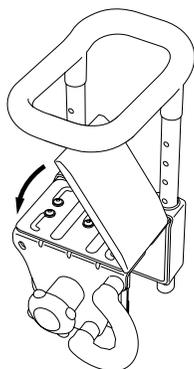
7 ハンドルが浴槽の内側に向くように取り付けます。

8 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取り付けます。

※締めつけ具合はグリップを握り左右に動かない程度を目安としてください。



9 スライド板カバーをスライド板に押し当てて固定してください。



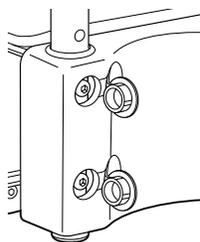
正しくセットされていることの確認

- 浴槽の壁厚が4.5～13cmであるか。
- 浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- 段がある浴槽壁で傾いて取り付けられていないか。
- フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。
- 締めつけが弱くグラツキはないか。

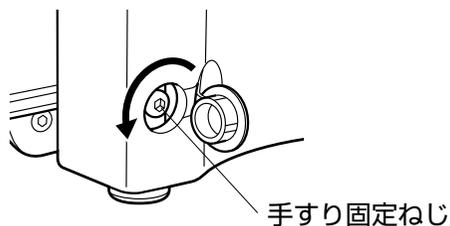
使いかた（浴槽にのみご使用ください）

グリップの高さ調節

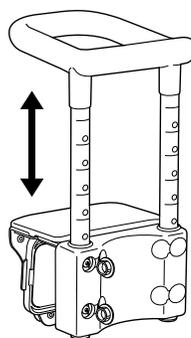
- 1 フレームカバーキャップを外してください。
（4ヶ所）



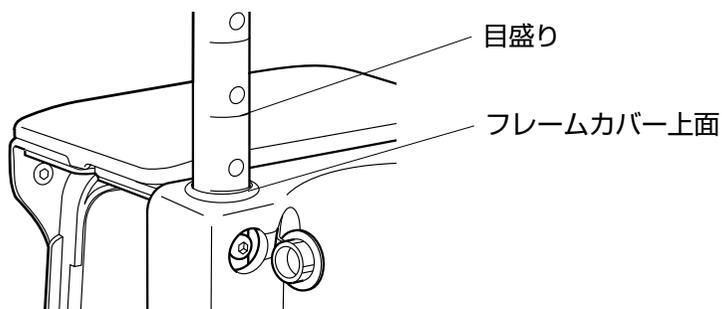
- 2 付属の六角レンチ（4mm）で手すり固定ねじを外してください。（4ヶ所）



- 3 グリップをスライドさせてお好みの高さを設定してください。



- 4 手すり本体にある目盛りとフレームカバーの上面を合わせながら手すり固定ねじを締めてください。
（4ヶ所）



- 5 最後にフレームカバーキャップを元通りにはめて完了です。

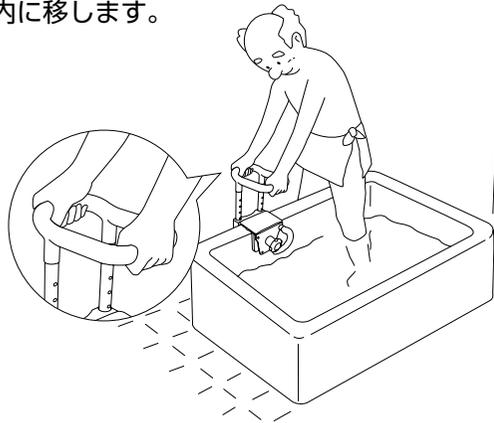


4ヶ所のねじが確実に締まったか確認すること
使用中にねじが外れ、破損やけがの原因になります。

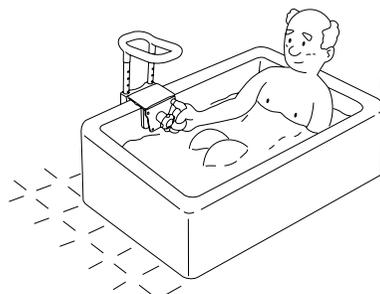
使いかた（浴槽にのみご使用ください）

- 使用前には必ず本品がしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
- 洗剤が手やグリップに付着していると滑りやすくなりけがの原因になりますのできれいに洗ってからご使用ください。

- 1 グリップを握り片足ずつゆっくりと足を浴槽内に移します。



- 2 グリップを持って、静かにお湯につかってください。



- 3 浴槽から出るときは、入るときと逆の手順で行なってください。

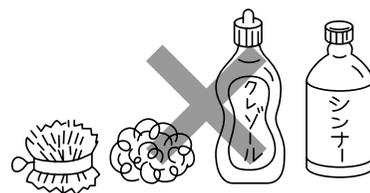
お手入れの方法

- 中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



注意

- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
- 必ず中性洗剤を使用すること
- 塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



本品のグリップ部は手触り感を良くし、さらに安全のため、使用時に滑りにくいよう、特殊な方法で製造しております。そのため、部分的に白点がありますが、品質上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。